

自然保育の現状と展望

～目指すべき姿～

ひろしま自然保育推進協議会 副会長 石井千穂
(森のようちえん まめとっこ 代表)

- 森のようちえん

自然体験活動を基軸にした子育て・保育、
乳児・幼少期教育の総称

(NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟による定義)

- 自然保育

行政による認証制度がきっかけ (2015)

自然環境や地域資源を活用した体験活動を
重視する保育、幼児教育、子育て支援等

(日本自然保育学会による定義)



身近な自然環境の中で子どもを育てること

子どもが主体的・自発的・直接的に
自然にかかわり、
子ども主体の遊びを大人が共感的に見守る



森のようちえん まめとっこ

2011年4月開園

広島市安佐南区大塚・伴地区

(~2020年度 祇園・山本地区)



目的

- 01 「子どもの育ちを待つ・見守る子育て」を大切にした
子育て・親育ちの場、及び、仲間づくりの場を共有する
- 02 やさしく厳しい自然の中で、子どもも大人もその人らしく
いのちを輝かせて育つ
- 03 広島森での活動を通して、ふるさとと自然を愛し
大切にす心と態度を育む

理念

- 01 すべての人が持つ、よりよく育とうとする力を信じて待つ
- 02 仲間・自然・いのちとの関わりを通して、
しなやかに強く育つ
- 03 大人はあたたかい空気で子どもの育ちを見守り、
それを**手助け**する

まめとっこの活動



ようちえんそらまめ

年少～年長
月～木曜日**9:30～14:30**
時間外預かり～**16:00**



親子組 さやまめ

おおむね**1歳～3歳**
水曜日**10:30～13:15**
親子参加



単発イベント

0歳～年長
森・公園・室内で森のようち
えん的子育てに触れられる場



小学生クラブ

ようちえん卒園児
月に**1回**、仲間とともに森へ

さまざまなフィールドで
心身を思いっきり動かす



多様な自然に抱かれて
一人ひとりがその人のペースで



一瞬一瞬を糧にして育つ



大事にしていること

01

失敗体験

(不便・不快・失敗を先回りしてとりあげない)

02

目に見えないところでの成長

(結果ではなく経過、プロセスを大切に)

03

子ども自身が考え判断し行動し、結果に触れること

(管理的な関わり・働きかけは極力減らす、安全面でも子どもが考えるように)

保育活動いろいろ



保育活動いろいろ



蜜蝋キャンドルづくり



干し柿づくり



畑仕事



田植え

保育活動 いろいろ



育ちのきっかけ
結果にこだわらない



年長の活動



お泊まり保育



年長登山



ふるまレデー



卒園制作（縫い物）



卒園式



卒園式

Hくん



自分のタイミングで

Yちゃん



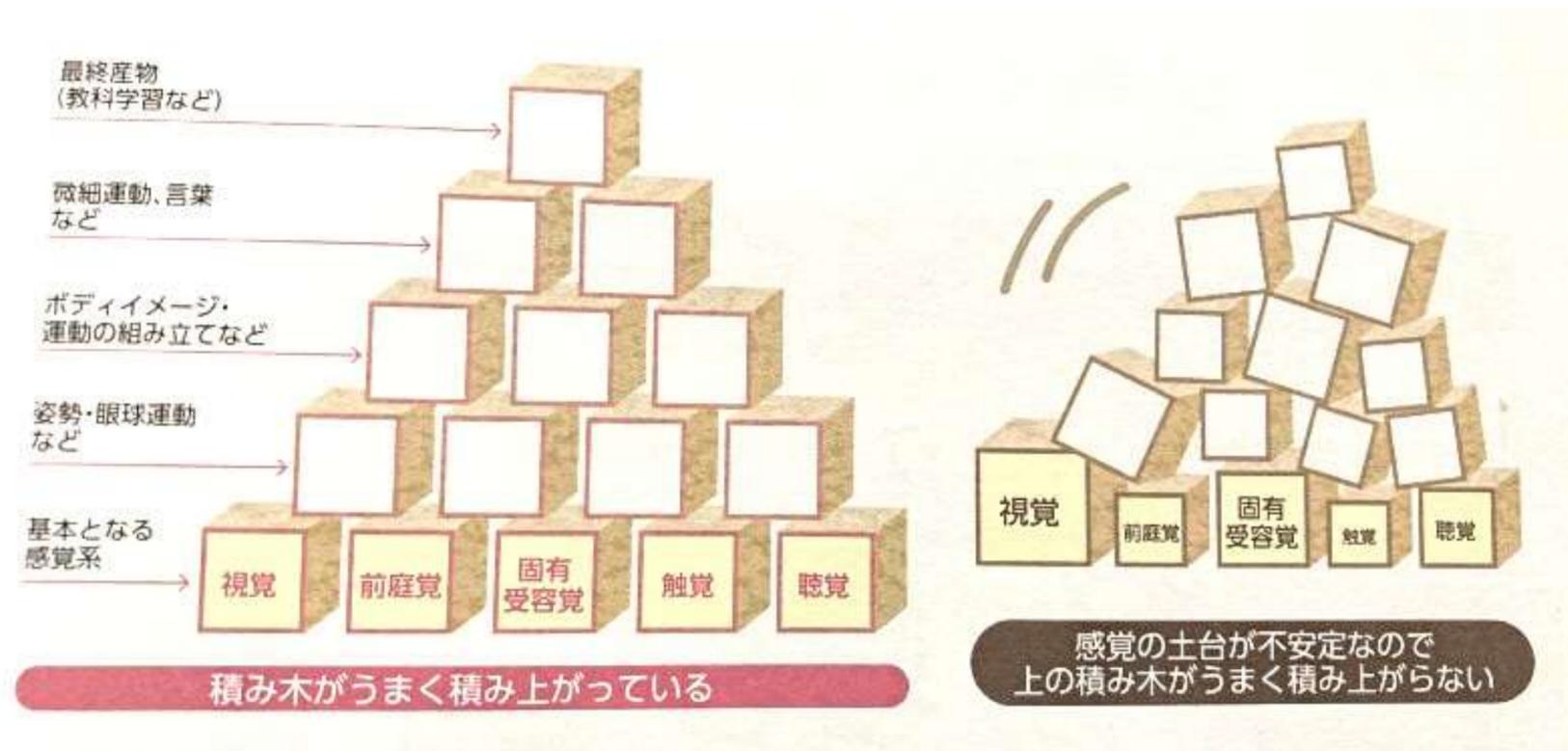
CKん



自然 × 幼児期のよさ

01 感覚の発達・統合、運動能力

皮膚・前庭感覚・筋肉や関節、五感への感覚刺激が豊富



引用：加藤寿宏監修（2019）「子ども理解からはじめる感覚統合遊び」，クリエイツかもがわ

02 認知機能の発達

- 観察眼
- 問題解決
- 記憶力

03 心の健康な発達

- リラックス、安心感
- 情緒が安定

04 社会性の向上

- 協調性、コミュニケーションスキル
- 共感力

05 自立、多様性の尊重、協働、視野の柔軟さ… これからの社会を生き抜くための価値観がしみこむ

- 自分を環境に合わせる柔軟さ
- 自分、周りの人のありのままを理解し受けとめられる

大人への効果

01

孤育ての解消

- 子育てを助け合いわかち合える
- 子どもがかわいく思えるようになる

02

自分と子どもの課題が分離できる

- 対等な人間同士としてお互いの人生に伴走する関係になれる
- 他者とも互いを尊重し合える態度が育つ（多様性の尊重）

03

子どもを育ててくれた森や地域に目が向き始める

- 地域の活動、**PTA**活動などにも積極的に関与

社会への効果

01 工夫する力、問題解決する力のある人が増える

02 いのちにやさしい選択をする人が増える

03 多様性を尊重する人が増える

地域への効果

01 親子の活力が増す

02 空き家、遊休農地、里山の活用

03 移住、地域の魅力発信

自然保育の未来に向けて

大きな課題

- 親世代、若い保育者の自然体験の少なさ
「自然の中で育てるのが大事」頭での知識
- ルールや人と同じことの価値が高い
「自分は我慢して頑張っているのに…」 自由を許せない
- 認可を受けていない園は自主財源なので死活問題



自然保育の未来に向けて

実践者 × 行政 得意分野を活かして 普及・充実

子どもの健やかな成長、
保護者のサポートのために



自然保育の未来に向けて

実践者

親子で気軽に 参加できるイベント

参加のハードルを下げる

「子どもも自分もありのままで大丈夫」

子育ての悩み相談

まめとっこの実例：青空ひろば、おさんぽ会など



自然保育の未来に向けて

実践者

保育者研修

「子ども主体」の理解

自然遊びの引き出しを増やす

他園との情報交換

まめとっこの実例：ロールプレイ研修、保育見学



自然保育の未来に向けて

行政
広報・啓蒙

行政の信頼性、広く伝えることができる

まめとっこの事例：

市の子育て支援冊子への掲載、イベントへの後援、
ひろしま自然保育認証



自然保育の未来に向けて

行政

認証・認可 & 経済的支援

まめとっこの実例：

ひろしま自然保育認証、認可外保育施設として届出

補助金、情報、アドバイスを得ることができる



まめとっこのあゆみ

2011

まめとっこ開園

自主保育

2012

ようちえん・親子組

共同保育

2013

ようちえん・親子組

現在と同じ日数に

2017

ひろしま自然保育認証

県の委託を受け検討委員も務める

2018

幼保無償化制度

2021

認可外保育施設

無償化対象

大塚に移転

自然保育の未来に向けて

実践者

横のつながり

- ひろしま自然保育推進協議会（**2023**～）
認証制度検討委員・自然体験活動アドバイザーで構成
自然保育の普及・充実に向けて行政に提案、協力
- 実践者のネットワークづくり



自然保育の未来に向けて

実践者 × 行政 得意分野を活かして 普及・充実

子どもの健やかな成長、
保護者のサポートのために

